

広報

おやすみ

2020

5

No.184

美しく咲き誇るシャクナゲ

NEXT きらめき★

服部 紗良 さん(大洲高等学校囲碁・将棋部3年)

第33回愛媛県高等学校総合文化祭
将棋部門 個人女子 3位
第28回全国高等学校将棋新人大会 出場



大洲高等学校3年(大会出場時2年)の服部紗良さんは、昨年11月に行われた愛媛県高等学校総合文化祭の将棋部門で個人女子3位に入賞しました。その後、2月に福島県で行われた全国大会に出場しました。

全国大会の印象を尋ねると「県大会で3位に入賞し、全国大会への出場が決まり、他の部員と一緒に喜んでくれたことがうれしかったです。全国大会ではレベルの高さを痛感しましたが、なんとか1勝することができ、今後の課題を見つけることができました」と振り返りました。

服部さんは、藤井聡太7段に憧れて高校入学から将棋を始めました。「将棋を打つときは、反則負けに気を付けています。また、定石を覚えることで序盤に使う持ち時間を短くし、終盤に余裕を持って打てるように心がけています」と話しました。

今後の目標を聞くと「最後の大会が近づいているので、全国大会への出場権を獲得するために、実力を磨きたいです」と述べていました。

5月の納税など 納期限は6月1日(月)です。

税 別	5月	6月	7月	8月
市 県 民 税		1期		2期
固 定 資 産 税			2期	
軽 自 動 車 税	1期			
国 民 健 康 保 険 税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。納期限内であればコンビニでも納付することができます。

現在の愛媛

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,371人 (-232)	件 数 11件(12件)
男	20,256人 (-102)	死 者 0人(0人)
女	22,115人 (-130)	負 傷 者 14人(13人)
世帯数	19,804世帯(- 23)	

(2020年3月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	NEXTきらめき・今月の表紙
3ページ～	(特集) 地域力の創造・地方の再生へ
6ページ～	おおずニュース
11ページ	シリーズ
12ページ～	おしらせピックアップ
22ページ～	情報ひろば
24ページ～	集まれO級若モン・図書館
26ページ～	保健センター・各種相談ガイド
28ページ	新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

今月の表紙



3月31日(火)、肱川町山鳥坂の丸山公園を取材しました。約3,000本のシャクナゲが咲き誇り、白やピンクの花が山を彩りました。

暖冬の影響で例年よりも早い開花を迎えたため、満開のサクラと並んだ見応えある景色になりました。

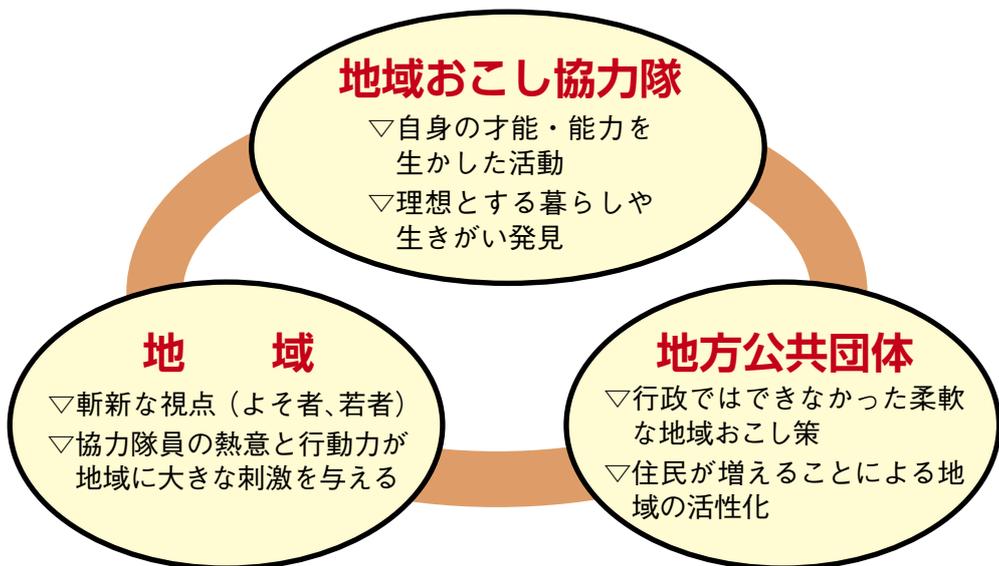
地域力の創造・地方の再生へ

～大洲市地域おこし協力隊～

地域おこし協力隊の受け入れの利点として、その地域に新しい視点が入ること、大きな刺激が与えられることがあります。また、隊員にとっても、培ってきた能力を生かし、これまでとは違った生きがいの発見につながるができます。

大洲市においても、市外・県外から地域のためにやってきた協力隊が地域の起爆剤、そして潤滑剤として活躍してきました。今回、3月に卒業を迎えた元隊員2人および3年目を迎える隊員の取り組みなどについて紹介します。

地域おこし協力隊導入の効果



(参考：総務省ホームページ)

【地域おこし協力隊とは】

地域力の維持・強化を図るため、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において都市住民を受け入れ、農林漁業の応援や住民の生活支援など各種地域協力活動に従事してもらいながら、受け入れ地域への定住・定着を図る制度です。



小泉 信二さん



活動地域：河辺地域
就任期間：平成29年4月～令和2年3月

3年間の活動を通して

河辺町の地域おこし団体「河辺の未来を考える会」のみなさんと毎年60件を超える自主事業を行ったことは、自分にとって素晴らしい経験でした。その中でも、大洲ええモンセレクトションに認定された「あまごめしの素」を開発・販売できたことは、今後につながる成果だと思っています。



地域おこしや、協力隊としての活動に限らず、一番大切なことは「動き続けること」、「継続すること」です。地域おこし協力隊や、河辺の未来を考える会で活動を始めて、3年間で河辺町の認知度、観光客の数は大きく変化しました。河辺町のみなさんが頑張った

結果ですが、現状に満足し「動き続けること」、「継続すること」をやめてしまえば、現状を維持することは難しくなります。

今後も、自分のできることを続け、協力してもらえらる人を増やし、より多くの人たちを巻き込んで地域の活性化に取り組みしていきます。

退任後の取り組み

退任後は、河辺ふるさとの宿の支配人として働いています。河辺の自然、文化、食材を生かし、子どもはもちろん、世代に関係なく楽しめるプランの開発を目指していきたいです。

河辺地域の中核施設である河辺ふるさとの宿の活性化は、河辺町の活性化にもつながります。3年前、私を温かく迎え入れ、見守っていたいただいた地域のみなさんに恩返しをする意味でも、スタッフのみなさんと力を合わせ、しっかりと河辺ふるさとの宿を運営していきたいと思っています。



井上 陽祐さん



活動地域：市内全域（主に肱南地区）
就任期間：平成29年5月～令和2年3月

3年間の活動内容

民間企業での経験を生かし、地域DMOの設立に携わりました。設立後は（一社）キタ・マネジメントの事業課長として、事業計画立案や運営を担当しました。

大洲には、その歴史や文化を内包した魅力的な資源があり、それを大事に守っている人がいます。しかし、隊員として活動する中で、空き家化が進み、町並みが失われているという現状を知りました。何としてもその資源を未来に残したいと所有者に掛け合い、地域の仲間と清掃を始めたのが、隊員1年目のことです。



金融機関や行政などと連携しながら町家を宿やショップに改修して事業者に貸し出す仕組みが作られました。今後5年間で約30棟の町家を改修して活用する予定です。

活動を通じて伝えたいこと

大洲には多くの魅力的な資源がありますが、同じ場所で暮らし続けると「良いものは何もない」と感じてしまいます。空き家となった町家も、仕組みを変えれば輝きはじめていきます。多くの人がそのように価値を生み出し、資源が残ればいいなと思います。

退任後の取り組み

引き続き、古民家の保全と活用に取り組みしていきます。大洲をより住みやすく、より若者が帰ってきたくなる町となるように先駆けていきたくと思っています。



また、大洲をどんどん海外に発信していく事業にも力を入れ、大洲―東京、大洲―海外をつないでこそ、自分の真価が発揮できると考えています。

中野

よしまさ
芳将さん



活動地域： 肱川地域
就任期間： 平成30年4月～

特産品の開発に向けて

肱川町からのミッシュョンとして、地元の特産品を生かした新しい手土産の開発に取り組みました。前職が料理人ということもあり、「食べ物で特産品開発を」と、お声がけいただくことが多かったです。

現在は、肱川町の地域おこし団体「肱川プロジェクト」のメンバーとして、トマトチーズケーキの開発を行っています。肱川町には、トマト、乳牛、平飼いの地鶏の卵、



ユズなどを栽培・生産している人がいます。上手に取り入れて、おいしいスイーツに仕上げて、新しい手土産を作りたいです。

令和2年度の取り組み

協力隊の任期も残り1年になりました。4月からは家族が肱川町に移住し、ようやくスタートラインに立った気持ちです。この2年間、活動するにあたって、「協力隊として来た人」ではなく「協力隊制度を活用している肱川町民」ということを意識するようにしています。そう意識することで、活動と生活のバランスがとれ、この地域おこし協力隊の制度の強みが出せると考えています。この部分の理解が地域や行政、隊員に欠けていると、うまく制度が働かないと思っています。

最後の年は、イベントへの出店や営業活動を中心にできることをとにかくやってみようと思っています。情報発信をするためのネット環境整備や小冊子の作成、地域資源を生かした自伐型林業、まきの生産や農作物の栽培など、自身の経験と技術を生かし、もっと外部とつながりを持って肱川町の魅力を発信していきたいです。

地域活性化のために

全国の地方自治体で活躍している「地域おこし協力隊」は、総務省によって11年前に制度化されました。令和元年度に活動した隊員は全国1071団体5349人であり、愛媛県では118人の隊員が活動に取り組みました。

大洲市の地域おこし協力隊の3人は、それぞれの地域で独自の活動を行ってきました。任務は異なりますが、3人とも地域活性化のために、創意工夫して活動に取り組みました。

「市外で働いていた人が地域で活動することにより、誰も気づかなかった魅力を見つけ出す」その可能性を持つ制度が地域おこし協力隊です。隊員の活動を通して、大洲市民も別の視点から大洲の魅力を見つけることができるかもしれません。

大洲市には、長い歴史のなかで継承されてきた伝統や文化があり、山・川・海のような自然も存在します。今後も、地域おこし協力隊の活動と併せて、大洲市の多くの魅力を紹介していきます。



地域おこし協力隊 募集中

大洲市では、河辺地域で活動する地域おこし協力隊を募集しています。河辺地域の資源を活用した特産品の開発や交流人口の増加に向けた活動をはじめ、移住・定住の促進などを図るため、主に「河辺の未来を考える会」と活動します。詳しくは、市公式ホームページに掲載しています。

協力隊を導入したい自治会や地域がありましたら、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

復興支援課活力創造係

☎ 09989